



No. **116**

9月議会定例会号

あなたと議会を結ぶ情報誌 **議会だより** <http://www.town.kanegasaki.iwate.jp/>

# かねがさき

こんなに  
大きく  
なりました！



施策の効果を確かめる  
26年度の決算を認定

議場を舞台に住民と意見交換会  
金ヶ崎の明日を語ってみっぺ！

カムバック  
双子ちゃん

シリーズ⑥

平成27年10月15日発行  
岩手県金ヶ崎町議会



町自治会長連絡協議会



町認定農業者研鑽会



町体育協会



町民生委員児童委員協議会



町商工会女性部



金ヶ崎まちづくり研究会



町女性百人会



町PTA連絡協議会

# 住民と議会 議場舞台に 本音で意見交換



多くの傍聴者の中、意見を述べる組織代表 議員は慣れない執行者席で生の声を拝聴

## 町内の9団体代表者らの切実な生の声に議会も応答

9月30日、「金ヶ崎の明日を議場で語ってみっぺ！」と銘打って、町議会と町内9団体の意見交換会を開催しました。町民に議会のしくみや役割について理解を深めていただくとともに、議場の雰囲気を経験していただくというものです。

各団体からは、想い描く金ヶ崎の明日と日頃の活動を通しての意見、要望を質問者席から語ってもらいました。

議会側は、事前通告のあった意見・要望を各常任委員会で検討し、9人の議員が応答しました。各団体からの意見、要望は、今後の議会活動に反映させていきます。

参加団体は親子サークル「かねが咲き親子この指とまれ！」さんを含め9団体（3ページに団体名と発言者の写真）の皆さんでした。

※紙面の都合により親子サークルの意見交換の様子の掲載はできません。

目次

- 2~3 住民との意見交換会 金ヶ崎の明日を 議場で語ってみっぺ
- 4~7 決算審査 生かせ 議員の指摘 まちの声
- 8 議案審議 条例・請願のゆくえ
- 9 補正予算・人事案件
- 10~19 一般質問 9議員 論戦に挑む
- 20 議員行政視察 長野 石川に学ぶ
- 21 フォトブラフ 議長 长春市訪問
- 22 常任委員会のうごき 所管事務調査報告
- 23 放射能汚染対策調査 特別委員会報告
- 24 ぴかっとひかる人 シリーズ46 高橋フジさん (細野)

### 子育てしやすい 町の実現を 親子サークル「かねが咲き親子この指とまれ！」

岩鼻 朱美 (子どものごとて手続き)

をする際、保健福祉センターと役場を行ったり来たりが、一カ所で行けるようにしてほしい。

○支援センターに保健師が来る日を増やしてほしい。

○子ども公園に行き遊みたいが、環境が悪く、安心して行けない。

○議員には、サークルの集まりに顔を出してほしい。

○どんなママでも子育てしやすい、住みよい町にしたい。(みかじりサークル)

栗野 友美 (発達に心配のある親の会「四つ葉のクローバー」の会の代表を務めています)

### 町自治会長連絡協議会

○自治会長の任期を長くしてほしい。

○自治会役員の手がななく活動が低調になる。議員は自治会に関わりをもっとほしい。

町認定農業者研鑽会

○耕畜連携による循環型農業実施への支援

○未整備地区の圃場整備、パインラインの促進。

○高年齢新規就農者へバックアップ体制の確立。

町体育協会

○各スポーツ団体が連携、交流を図る協力体制の整備。

○幼児・児童の体力向上への取り組み。

町民生委員児童委員協議会

○委員一人の担当世帯の見直しと生活相談員制度の検討。

○委員選任の際、議員が協議に参加してほしい。

○委員は2期6年間活動できる対策の検討

### 町商工会女性部

○地元業者は厳しい経営状況にある。地元での積極的な購買を願う。

○女性部は諸活動を通じて町に貢献していきたい。

金ヶ崎まちづくり研究会

○伝建群維持のため動いているボランティア団体は運営が厳しい。住民、行政、専門家等が総合的に考えていく必要がある。

町女性百人会

○自治会役員や行政の委員等に女性の登用を。

○育児、介護などの家族が一時的に預けることができる

### 各団体からの意見・要望

(抜粋)

### 議長の感想

各団体の皆さんが日頃の活動で感じている点を議場で発言していただきました。現場の生の声を拝聴し、改めて身の引き締まる思いでした。いただきまました提言は、責任をもって町当局につきま、実現できるように、しっかり働きかけていきます。初めての企画にご協力いただき感謝申し上げます。

議長 伊藤 雅章



おもてなしの心を学ぶ 7月7日、県南議長会議員研修会が平泉町で開催されました。「古都ひらいずみガイドの会」の岩淵洋子さんの講演で、平泉を訪れた人々へのおもてなしの心や、日頃の苦労話などをお話いただきました。ガイドの会は、50代から80代まで平均年齢69歳のシルバーパワーでがんばっています。



委員長 高橋 奨 議員

# 施策の効果を確かめる

## 仕事の出来高と出来具合をチェック

決算審査特別委員会は、9月14日から16日までの3日間開催され、26年度の一般会計・特別会計・企業（水道）会計の10会計について審査しました。

一般会計の歳入は、94億8470万円、歳出は92億1900万円、差引額2億6570万円となりました。

特別会計の歳入は、45億4238万円、歳出は43億3927万円、差引額2億310万円となりました。



副委員長 梅田敏雄 議員



地域の元気は町の元気に繋がります（南町自治会の子どもこし）

**工業系土地利用**

**Q** 新たな工業系土地利用計画を策定し、対外的に情報発信すべき。

**A** すでに販売した企業内土地で有効に活用されていない土地がある。その活用を促すために企業訪問の姿勢を示すべき。

佐藤 千幸 委員

**給食費の滞納**

**Q** 給食費の滞納について児童手当から徴収できることとされているが、現年度以外の滞納も徴収できるか。

**A** 滞納者の了解を得て児童手当から徴収できる。それ以外にも、学期末面談等の機会を通じて納入を促している。

高橋 藤宗 委員

**女性百人会**

**Q** 女性百人会の今後の方向性は。

**A** 全町を網羅する唯一の女性団体である。女性の元気がまちづくりに役立たい。防災や復興支援等に自主的に取り組んでいる。自主的な活動をサポートしていく。

阿部 隆一 委員

## 生かせ議員の指摘

# 26年度決算 4億円の黒字

9月議会定例会は、9月8日から17日までの10日間の会期で開かれました。一般質問には9人の議員が、教育、農業、道路整備などについて町の考えをいただきました。

また、人事案件、町条例の一部改正、補正予算などを審議し、原案のとおり可決しました。

平成26年度一般会計、特別会計などの歳入歳出決算認定については、決算審査特別委員会を設置。集中審査の結果、原案のとおり認定しました。（関連記事4～7ページ）

## 独自の政策を生み出す努力を



監査委員 山路正悟 代表監査委員 高橋 順一

### 監査委員の意見

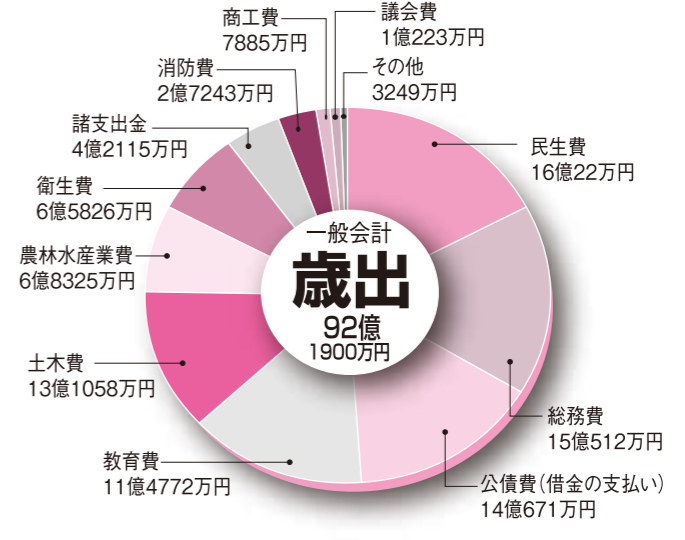
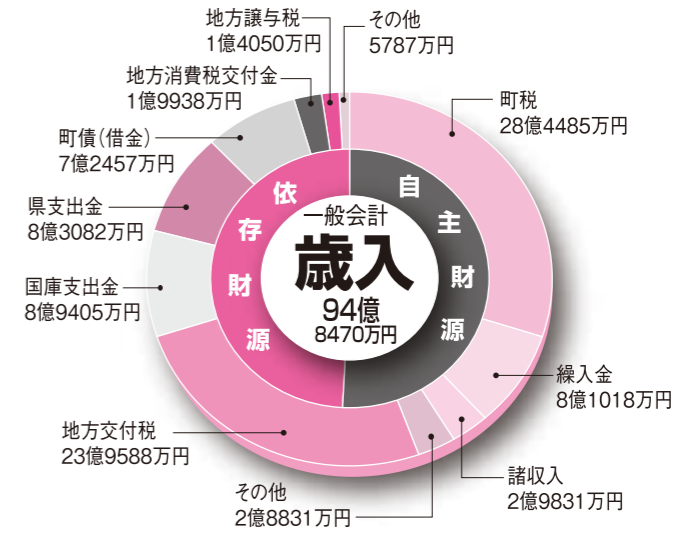
平成26年度決算は、一般会計、特別会計合わせて歳入総額140億2708万6千円、歳出総額135億5827万8千円、翌年度繰越額2億5899万7千円の決算額であり、全会計とも黒字決算である。

町債の状況は、年度末残高一般会計、特別会計合計で176億3925万9千円であり、前年度比較で8億804万4千円減少している。

財政調整基金の年度末残高は、20億7163万1千円で前年度比較1億7672万5千円増加している。

財政運営状況は、地方公共団体の健全化に関する法律に基づく判断比率において、実質公債費比率が17.5%、将来負担比率が50.8%となっており、いずれの数値も早期健全化基準を下回っている。

こうしたなかで、収入未済額が計上されていることから、早期解消を望むものである。



※各項目で四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

**将来負担比率 大きく改善**

地方公共団体の財政健全化に関する法律に基づく判断比率において、将来負担比率が前年度比22・2ポイント減の50・8%と大きく改善しました。また、実質公債費比率も、0・2ポイント減の17・5%となっており、いずれも早期健全化基準を下回っています。

しかしながら、実質公債費比率は前年度比0・2ポイント改善しているものの、県内市町村の中では依然として高い数値となっているため、さらなる改善に努められるよう望みます。

# 財政健全化指標が改善

# 数字で見る金ヶ崎町の 実力

市町村名	財政力指数	自主財源率 (%)	実質公債費比率 (%)	将来負担比率 (%)
	H22~24	H24	H24 (H22~24)	H24
花巻市	0.43	34.4	14.2	85.7
北上市	0.63	48.7	15.9	130.5
遠野市	0.25	26.2	12.0	96.7
一関市	0.35	27.7	15.3	132.1
奥州市	0.39	26.1	17.0	166.6
紫波町	0.40	35.3	12.9	90.8
矢巾町	0.59	45.3	15.6	147.0
西和賀町	0.15	16.2	12.1	66.9
金ヶ崎町	0.55	47.5	17.3	88.5
平泉町	0.28	27.3	13.7	79.2
住田町	0.15	22.2	6.8	-
県平均	0.32	25.4	12.6	61.7
内陸平均	0.35	30.8	12.9	76.9
沿岸平均	0.25	16.0	12.2	35.0

用語の解説 (平成26年9月発行「岩手県市町村概要」より)

**財政力指数**  
地方公共団体の財政力を示します。指数が「1」に近いほど留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえます。「1」を超える場合は、普通交付税の不交付団体となります。

**自主財源比率**  
市町村が自らの権能を行使して調達することのできる財源(自主財源)が、歳入総額の何%であるかを示し、この比率が高ければ高いほど歳入構成が安定的であることを表しています。

**実質公債費比率**  
この比率は、地方交付税や普通交付税のように用途が限定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、公債費や公営企業債に対する繰出金などの公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額(普通交付税が措置されたものを除く)に充当されたものの占める割合の前3年度の平均値です。

地方債協議制度の下で、18%以上の団体は、地方債の発行に際し許可が必要になります。

**将来負担比率**  
地方公社や損失補償を行っている出資法人等に係るものも含め、当該地方公共団体の一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率です。地方公共団体の一般会計等の借入金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標ともいえます。

# まちの声 甘辛意見

26年度事業

アスパラガス生産者と圃場で



農業技術指導員報酬

## アスパラガス適切な技術指導で収量アップを

アスパラガス栽培を始めて7年になります。町がアスパラガスを重点品目に指定し、農業技術指導員を設置したこと、より広く栽培情報が伝わるようになり、特に「栽培マニュアル」&「通信」は参考になるものが沢山あり、大変助かっています。また、指導員は農家と圃場を巡回するなどし、収量アップした農家、作付を始めた農家も多しと聞き、手の高年齢化に対する問題等を控え、益々の援助を期待しています。



高橋 隆さん (永岡)

## 街地区の地域づくり推進のために

生涯教育の町を宣言して36年経過したが、街地区は施設が充実している他地区に比べ活動が制約されています。財政事情などで置き去りにされてきた感じがします。地区センターへ体育館新設の請願に、町当局の答弁には、地区民の声に込めるものがなかったように感じます。しかし、今回、議員全員賛成で請願が採択されたことに希望が見えました。議員の皆様には、必要性を認識して頂いたと思いますので、実現をぜひ真剣な活動をお願いします。



及川伊佐男さん (街)

## 良質乳生産で所得の安定めざす

当牧場では乳用牛30頭を飼養し、年間130トンの生乳を出荷しています。就農当時は機械設備の老朽化、農機等の能力不足により相当苦勞しました。新規就農支援制度の適用を受けて、牛や機械の導入、デントコーン多給に向けた飼料基盤の準備から立ち上げまで不安もなく行えました。今後は農作業受託と減反水田を活用した牧草やデントコーンの生産販売を増やし、良質乳生産、所得の安定を目指して資金を活用していきたいです。



桑島栄慎さん 愛美さん (六原)



支援資金で機械を導入

新規就農支援事業

**雇用創出事業**  
Q 震災等緊急雇用対策事業、重点分野雇用創出事業の雇用状況はどのようになっているか。  
A 関連事業の雇用延べ人数は17人となっている。

**休日保育**  
Q 休日保育の実態はどうなっているか。  
A 金ヶ崎保育園でのみ実施している。延べ利用者は29人となっている。保育費は一日2000円から1500円である。

**中学生英語検定**  
Q 実用英語技能検定試験検定料の半額を受験者に補助しているか。  
A 合格率59.6%はどのようになっているか。  
A 準2級から5級まで受験しており、高位級になるにつれて合格率が低くなる。もう少し伸びしろがあるかと期待し、中学校にガンバリをお願いしている。検定料の補助により、受験者は増えている。

**移動販売車**  
Q 町産業開発公社が運行を始めた農産物の移動販売車は、買物弱者にとって、ありがたい存在か。  
A 利用者数は767人で販売実績は北ルート24万円、南ルート50万円になっている。町内2産直に、がんばってもらっている。

**移動農業委員会**  
Q 移動農業委員会の相談件数は1件〜3件程度で、低調に見受けられる。廃止すべきではないか。  
A 移動農業委員会は各地区センターの各種行事に併せて実施し、農業委員の活動内容のPRに主眼を置いている。相談活動は日常業務の中で対応しているので、相談件数は少ないものと思われる。

**死亡牛処理**  
Q 死亡牛処理円滑化推進事業の対象処理頭数はどの程度か。  
A 補助対象は102頭であるが、町全体の死亡牛は年間500頭程度である。

**義援金留保金**  
Q 東日本大震災義援金留保金533万円余の使用はどのようになっているか。  
A 町内への自主避難者や沿岸被災地復興支援などに、継続して取り組んでいる。

**財政運営**  
Q 今後の財政運営の在り方をどう考えるか。  
A 町民主役のまちづくり、それを財政面から支えていきたい。

## 平成26年度 各会計の決算状況と採決のようす

区分	歳入	歳出	採決の結果
一般会計	94億8470万円	92億1900万円	全員賛成
国民健康保険	16億9092万円	15億5631万円	全員賛成
下水道事業	5億4092万円	5億2727万円	全員賛成
農業集落排水	3億9765万円	3億8230万円	全員賛成
訪問看護	2413万円	2271万円	全員賛成
介護保険	14億4546万円	14億2363万円	全員賛成
浄化槽	3119万円	2789万円	全員賛成
診療施設	2億9087万円	2億7899万円	全員賛成
後期高齢者	1億2121万円	1億2015万円	全員賛成
計	45億4235万円	43億3924万円	
企業会計・水道事業	3億3760万円	3億1684万円	全員賛成
合計	143億6469万円	138億7508万円	
前年比	99.16%	99.30%	

※1万円未満が四捨五入のため、合計が合わない場合があります。

# 定住自立圏議案を可決

奥州市及び北上市が中心市宣言を行い、賛同した金ケ崎町との間において、相互に役割を分担し、自主性と自立性を尊重しながら圏域全体の活性化に向け、定住自立圏形成協定を締結しようとするものです。(全員賛成)

## 土地利用については それぞれの市町で対応

**Q** 協定を議決すれば10月には内容について策定するようだが、1カ月間という短期間で、あらゆる分野についての協定を結ぶのは不可能だと思う。内容はすでに出来上がっているのではないか。

**A** 協定ビジョン懇談会の日程がまだ決まっていないので、中味についてははっきりしない。事務的な検討はしているのですが、これから具体的に詰めていく。目標はあくまでも10月中旬のことだ。

**Q** 国の要綱では土地利用についても政策分野の中に含まれているようだが。国は国、地方は地方ということかも知れないが、土地利用に関しては、どの分野でカバーするのか。

**A** 金ケ崎町は市と町の間には挟まなくて、交通の便など土地機能が充実されている地域である。それぞれの市町において対応する部分が大いいため、個々に取り上げてテーマとするに至ってないので、協定の中には盛り込まなかった。



金ケ崎町の町並 住み心地はさて何点?(役場展望室より南方を望む)

## 条例改正 マイナンバー法施行で 個人情報保護条例を 一部改正

**Q** 個人情報で氏名や生年月日その他とあるが、その他とは何を指しているのか。また、特定の範囲は、税とか社会保障、個人の財産、預貯金、薬などまで含むとの報道もあるが。

**A** 個人として特定できると思われるものをその他としている。マイナンバーの関係では、税や社会保障関係に使われる。年金については時期を延ばし、預貯金については数年後の運用となる。また、薬などについては慎重な取り扱いが検討されている。(賛成10、反対2の多数で可決)

## 請願のゆくえ

件名	請願者の住所・氏名	紹介議員	付帯委員会	託任委員会	審査の結果
街地区生涯教育センターへの体育館併設(新築)に関する請願書	金ケ崎町西根北江甫53 金ケ崎町街地区生涯教育センター内 街地区自治会連合会 会長 柏井慶一	梅田 敏雄 高橋 藤宗 阿部 隆一		総務常任委員会	採択

# 正算 補予 学校給食センター 調理・配送部門を 民間委託へ

## 町内業者へも 門戸を広げたい

**Q** 民間委託をする場合、町内業者もプロポーザルの選定に入れるのか。また、委託契約したときの支払計画はどのようなか。

**A** 町内業者の参入等については、県内他施設の状態を聞きとりした。業務責任者のところが管理栄養士とか栄養士の資格がなければ絶対ダメというところではなく、調理員に指示を出せるような、ある程度経験を積んだ調理師の方がかつての施設もあった。そのあたりを加味しながら業務責任者のところに、管理栄養士、栄養士または実績のある調理師を配置できるような業者であれば門戸を広げたいと考えている。



オール電化の学校給食センター調理室

※プロポーザルとは業務を発注する場合の受注者を選定する方法のひとつで、発注者が事前に業務の場所・目的・期間等を提示し、受託希望者はその業務に対して技術力や経験、業務遂行に対する体制などの企画書を提出してもらい、ヒアリング等の審査を実施して選定します。

## 反対

阿部 隆一

補正予算に、学校給食センターの調理と運送業務を民間委託するための予算1億500万円計上されているので反対する。民間委託する理由として、「衛生管理面強化」、「病欠職員補充」、「経費節減」などを上げている。これは現状の体制で充分対応・解決できることである。民間は倒産し、給食がストップする可能性がある。また、民間は利益を確保するので、労働条件悪化が避けられない。町の直接運営が、給食の安全安心を確保し、保護者の信頼を得る方策と考える。

## 討論

## 賛成

千葉 和美

町全体として取り組んでいる学校給食センター検討委員会から、運営のあり方について検討した結果、民間委託することが望ましいとの結論に至ったと報告があった。このことにより、公募型プロポーザルの応募要件については、町内業者も参加できるようにするとの回答があったことから、同僚議員の意見も反映されている。町民の安全・安心な生活のために必要な予算が措置されたものであり、賛成するものである。

## 空き店舗 活用を応援

**Q** 空き店舗活用の400万円については、1店舗の補助限度額が200万円なので、2店舗分だと思いが、どこにどのような店を開設するのか。

**A** 一つは本町通りで喫茶をメインとする店舗。もう一つは三ヶ尻地区国道4号沿いにある、JAいわてふるさとの建物を借りて、喫茶と雑貨を扱いたいとして、商工会から経営診断を受け、出店はほぼ問題ないので補正したものだ。

**Q** 活用については、ある程度の目標を立てているのか。

**A** 新たに新店したいというところについては、実施計画や経営計画に問題がないと判断した場合、毎年度2件ずつを目標にしていきたい。



三ヶ尻地区4号沿い空き店舗

## 人事案件に同意

教育委員会の教育委員の任命に全員賛成で同意しました。及川慶子さんの任期満了に伴うものです。

### 【教育委員】



たかはし さちこ  
高橋 幸子 さん(新任)  
満65歳  
任期：平成27年10月1日～  
平成31年9月30日  
住所：金ケ崎町西根高谷野原

## 新たに追加された主な予算

- ▽財政調整基金積立金 1億5784万5000円
- ▽公共施設維持整備基金積立金 1億円
- ▽子育て支援センター改修工事 613万9000円
- ▽通知カード・個人番号カード関連事務交付金 559万2000円
- ▽老人保護措置事業委託料 400万円
- ▽たひよう保育園整備事業補助金 227万5000円

**むかでマラソンに沸く** 8月1日の町夏祭り恒例の第29回むかでマラソンが開催されました。参加チームは、事前練習を重ね、熱戦を繰り広げました。「賞金・賞品」めざし燃えるのは人間の本能であり当然のこと。夏祭りの中で、毎年一番暑く燃える催しです。

**子どものがんばり、大人の感動** 7月28日、猛暑の中、町内小学校水泳記録会が森山屋内プールで開催されました。熱気と湿気で汗だく観戦。応援合戦もヒートアップ。記録もさることながら、子どもたちの必死で泳ぎ切る姿、根性に胸キュンでした。

# 予定通り10月には通行できるか

## 町長 — 10月通行は無理、年内開通を目指す

**問** 町道東町・荒巻線の拡幅改良工事は、10月の供用開始に向け急ぎ工事が行われている。

供用まで残り2カ月余りで完成するものか、交通安全対策は希望通りに講じられるものなのか、多くの不安と予定通り供用されることへの期待感もたれる。

本路線の工事状況を改めて問う。

**町長** 電柱移設が1カ月遅れ給のため水路工事が8月に出来なかったことから、当初10月末の完成を目指していたが難しい状況にある。何とか年内に通行できるようにしたい。但し、国からの補助金が要望額の半分程度だったので、本来2層舗装だが、今回1層舗装のみで通行に支障の無い状態での仮開通となる見込みである。



工事が進む交差点 信号機の設置を (下平沢地内)

信号機3カ所(工業団地道路・下平沢会館北・東町団地)の設置については公安委員会に要望している。

地県道の各十字路交差点

### 町道改良



ちばまさお 千葉正男 議員

**問** 7月12日、奥州市と金ヶ崎町を会場に岩手県総合防災訓練が実施された。

各自治会、消防団、婦人消防協力隊、赤十字奉仕団、社会福祉協議会、建設業協会、役場職員等多くの皆様の参加を得て、防災対策・避難等、避難所運営、防災知識の普及啓発・防災意識の高揚、関係機関の対処・連携強化等、各種訓練が実施され、改めて災害発生時における対処法を再確認したと考える。

今回の訓練を振り返り、考えられる課題、対策、周知方法等について問う。

**町長** 今回の訓練は各自治会や各種団体、三ヶ尻小学校児童等約1000名の参加のもと実施した。それぞれの個別訓練は概ね良好と評価しているが、一部避難所開設訓練では人員不足が生じたことから、現地対策本部から職員を応援に出し対応した。職員の配置など充分でなかった部分もあった。

今後は避難した住民が主体的に行動出来る訓練が必要であると考えている。

来年の町防災訓練では、町民自ら考え行動出来る体制づくりを考慮した訓練を実施する。

### 今回の訓練をどう活かす

10月完成予定が年内に延期、今度こそ信じていいのか……?

議員のつぶやき...

# 子育て・農業振興などで論戦

ページ	質問者(登壇順)	質問項目
11	千葉 正男	①県総合防災訓練について ②町道東町・荒巻線工事状況 ③中学校環境改善 ④町民歌の普及
12	阿部 隆一	①子育て支援充実を第十次総合発展計画の重要課題に ②町内企業に非正規労働者の正社員化の要請を ③食品加工事業所からの悪臭解決を
13	高橋 藤宗	①街地区体育館の現状について ②金ヶ崎町教育委員会会議規則について
14	佐藤 千幸	①選ばれる自治体になるために(町の売り込みについて) ②生活環境の保全による快適なまちづくり(ゴミについて)
15	及川 みどり	①畜産業振興策 ②教育行政
16	高橋 文雄	①町づくりのビジョンを ②花魁庵内通路について ③知事選挙のしこりはあるのか
17	巴 正市	①異常高温について ②和牛肥育について ③電気柵の安全対策について
18	梅田 敏雄	①空き家対策について ②総合発展計画における時勢認識について
19	千田 力	①戦後70年に当たっての所感について ②道路改良整備について

### 傍聴しました

今年度に金ヶ崎町職員となった新人10人が初傍聴しました。

住民課 男性

議員は町民の生活を考えた質問をしてみたい、町民の意見を定期的に知る場がなくなっていると感じた。

総合政策課 女性

議員は住民の立場に立つて問題解決を目指して、各課長がどのように対応していくのかを見せたい、これからは自分自身の責任、重みを感じたい。

教育委員会 女性

議会は自治体の意志決定機関であるため、町には責任を持った説明が必要であることがわかった。「町のため」「住民のため」ということを念頭に、日々仕事をしなければと思った。

今定例会の傍聴者は64人でした

**ひとめぼれに負けるな** ボランティア団体「金ヶ崎婚活協議会(通称金ヶ崎お結び隊)」の活動拠点となる婚活支援ベース「ふためぼれ」が8月4日中央生涯教育センターに開所しました。結婚に対する意識が多様化している中で、結婚を希望してもなかなか結婚につながらない人も多く見られ、人口減少問題にも影響しています。今秋「ひとめぼれ」は豊作、「ふためぼれ」も立派に実ってほしいものです。

# 街地区センターに体育館併設を

## 町長 — 検討材料の1つである

**問** 街地区生涯教育センターは他の各街地区センターとは違い、センターと体育館が離れた場所に建てられている。この距離により、様々な地域活動に制限がかかっている。他の街地区センターと同様、街地区センターに体育館を併設するべきである。そもそも、平成7年の街地区センター移転・新築の際、なぜ同時に体育館が建てられなかったのか。

**町長** 私も疑問に思う。理由は憶測では言えない。大規模災害時、対策本部になる役場は大混乱に陥る。その際、役場に隣接した体育館は町が活用した方が効果的である。現在の街地区体育館は町民体育館とするべきであり、体育館をセンター横に新築すべきである。



平等の生涯教育学習は何処へ…… (街地区センター)

**町長** 街地区体育館は一時避難所である。混乱時は役場エントランスの解放等も考えていかななくてはなら

ない。  
**問** 街地区文化祭等、規模が制限され、展示のみ

**町長** 他課題が山積みしている状態であるが、検討材料の一つではある。

街地区体育館

たかはしふじむね 高橋藤宗 議員

体育館併設は、無駄なものなのか？  
防災、地域づくり、平等の観点。  
混乱期の負の遺産、解決するのは、いつの時代か……

議員のつぶやき…

# 高校卒業まで医療費を無料に

## 町長 — 子育て支援の重要テーマとして検討

**問** 第十次町総合発展計画に、子育て支援の充実を重要課題とすることが、有効な少子化対策と考える。  
**町長** 町本町は、私の一般質などを契機に医療費無料制度を2013年8月から中学卒業まで拡充した。子育て支援のため、来年度から高校卒業まで拡充してはどうか。

町本町は、私の一般質などを契機に医療費無料制度を2013年8月から中学卒業まで拡充した。子育て支援のため、来年度から高校卒業まで拡充してはどうか。  
**町長** 県内では8町村実施。国も支援拡充する方向であり、他自治体の動向を見ながら、子育て支援の重要テーマの一つとして検討する。  
**問** 本町は、幼稚園・保育園保育料の第3子以降無料、第2子半額を実施している。収入の少ない若い子育て世代にとって、保育料の負担は大変である。少子化対策のため第2子も無料にすべきである。  
**町長** 保育園は財政的に困難である。幼稚園は、保育園の保育料との整合性を図ることや、保育料改定等の課題もあり、困難である。本町は、子育て支援として園児バスを無料で運行している。  
**問** 義務教育の小・中学校には「学費」はない。しかし、衣・食費、部活(スポ少)、習い事(塾)などに相当な費用が必要である。収入の少ない子育て世代支援のため、給食費を第2子以降無料にしてはどうか。  
**町長** 財政的に困難である。本町の給食費は県内では低い方である。

以降無料にしてはどうか。  
**町長** 財政的に困難である。本町の給食費は県内では低い方である。  
**問** 私と共産党奥州市議団が共同して実施したアンケートには、「息子が派遣なのでとても不安である」「パートは時給が変わらず大変」「臨時は低賃金のうえ、有休が取れない」「派遣には病休がなく、有休も自由に取れない」など切実な声が寄せられている。町としてトヨタ自動車東日本若手工場を含む町内企業に強く非正規労働者の正社員

化を求めるべきである。  
**町長** 毎年、水沢公共職業安定所や県と共に商工会や企業クラブを通して要請してきた。各種会合や企業訪問などでも要請してきた。今後も機会を見て要請していく。  
**問** 7月下旬から、東町団地住民から「臭い」「悪臭」の苦情が寄せられた。「悪臭問題には早期対応を」



悪臭問題には早期対応を (六原)

子育て支援

あべりゅういち 阿部隆一 議員

私は9月8日に一般質問した。その3日後、トヨタ自動車東日本は、若手工場の期間従業員約500人中100人を来年度4月1日までに正社員に登用すると発表した。(9月12日の若手日報報道より)

議員のつぶやき…

**私たちの夢が動き始める** 8月15日、夏の金ヶ崎町成人式が中央生涯教育センターで行われました。今年20歳になる227名(男135名、女92名)のうち123名が出席成人を迎えました。新成人を代表し小原陸さん、及川弓枝さんが「これから大人として世のため人のため日々精進します。」と誓いの言葉を述べ、大人の仲間入りをしました。

**高田から洋野まで** 8月11日、町長、議長、総合政策課職員が「りんどう」を持参して、沿岸被災地を慰問。陸前高田市から一路北上。県境洋野町までの12市町村。あのがれきの山はなくなったものの、復興のペースは遅く、心が痛みます。でも訪れた役場、市役所では心あたたまるおもてなしも。それぞれの首長さんの前向きな姿に、逆に元気をもらった一日となりました。それにつけても若手は広し。

# 和牛子牛市場価格高騰続く 対策は

## 町長 一子牛増頭に向けた取り組みを

**町長** 平成22年に宮崎県で発生した口蹄疫の影響により子牛不足となっており、子牛価格の高騰が肥育農家の経営を圧迫している。繁殖牛の増頭は必要だが、町内の繁殖農家は減少している。

平均価格	平成25年	平成26年2月	平成26年5月
	50万円台	60万円台	65万円以上

**問** 全国的に和牛子牛市場での取引価格の高値が続いている。  
**答** 肥育農家は、枝肉相場の値上りも期待できず、今後の経営は赤字に転じていくとされている。その要因の一つに全国的な子牛不足が挙げられている。金ヶ崎町内でも繁殖農家が減少しており、町の畜産家の衰退につながる。町ではどのような対応策を考えているか。

町では肉用牛貸付事業基金を活用し、導入牛の利子補給を行っている。  
 国・JAなど関係機関と



この子たちも仲間が増えるのを待っています

連携しながら、肥育農家が子牛価格に左右されないような、繁殖、肥育一貫飼養体制の導入の支援をしてい

### 畜産業振興



おいかわ 及川みどり 議員

人も牛も少子化の波にのみ込まれる現状。町の発展のため、みんなで知恵を出し合えば。

議員のつぶやき...

# 選ばれる自治体になるために

## 町長 各種PRイベントや移住・定住相談会等へ参加していく

**問** 人口減少社会を迎え、人口を維持するためには、転入・転出に伴う社会増にも取り組まなければならない。  
**町長** 人口減少社会を迎え、通じて情報を発信していく。移住・定住の相談会にも参加していく。

**問** 町を広く知ってもらうために、「ふるさと納税(寄付制度)の活用も検討すべきだ。  
**町長** 特産品や観光資源、食文化などの情報を通じて町を知ってもらうことで、交流人口の増加と経済効果が期待できる。

**町長** 26年度は19件、267万円のふるさと納税があった。返礼品の見直しやPR方法の改善に取り組んでいく。

※全国一は長崎県平戸市の14億6272万円、東北一は山形県天童市の7億8008万円、岩手県一は北上市の1億2280万円。

**町長** 生涯教育のまち宣言、アスパラガスストップセールス、高速道前沢サーピスエリアでの誘客キャンペーンなどに取り組んできた。首都圏や京都在住の「金ヶ崎ふるさと大使」4人を

**町長** 26年度の可燃ゴミは3522tで微増傾向、資源ゴミは484tでピーク時の半分になっている。可燃ゴミの増加は、世帯数の増、勤務体系の変化に

**問** 地球温暖化はさまざまな要因が絡み合い、起死回生の大きな決め手がなされている。  
**町長** 「もったいない」精神で小さな積み重ねが大事だ。ゴミの減量化の実態はどうなっているのか。  
**町長** ゴミの総量は、この数年推定している。26年度の可燃ゴミは3522tで微増傾向、資源ゴミは484tでピーク時の半分になっている。



町道のり面に投棄されたゴミの山(三ヶ尻地内)

よる食事回数増、調理済み食品の多用等、資源ゴミの減少は、小売店舗での回収等が要因であると思われる。

**問** ゴミの減量化の当面の目標とその行程表はどのように考えているか。  
**町長** 金ヶ崎町一般廃棄物処理計画(平成23年3月策定)では、平成32年2800tを目標としている。各地区でのリサイクル学習会や子ども会の廃品回



さとうちゆき 佐藤千幸 議員

できませんではなく、やってみます。わかりませんではなく、調べてみます。前向きな姿勢が町を進化させる。

議員のつぶやき...

**問** 不幸にして投棄されてしまった場合、町は保健所や警察と情報を共有しつつ、原状回復に向けて速やかに行動を起こすべきだ。情報把握から原状回復まで、どの程度の日数を要しているか。  
**町長** 速やかに現場確認を行い、特殊な案件を除き同日から数日で対応を完了している。

きたい。また、耕畜連携による和牛子牛増頭に向けた取り組みを「33V」。

年月日	飼養戸数	飼養頭数
27.4.1	69戸	428頭
25.4.1	83戸	501頭

**警** いじめによる悲劇を二度とくり返すことのないよう願っている。いじめの再調査は、友人関係のトラブルや軽微なもの、ごく短期間で解消したものも再報告するよう指示された。各校から数件報告されている。いじめは被害者、加害者ともに心に大きな傷を残す。

**問** いじめ問題をはじめ、頻繁に起こる殺人のニュースに心を痛めている。教育委員会は、町内でいじめの報告はないと回答しているが、文部科学省は報告のやり直しを求める通知を出した。いじめは、さまざまなことと思えることでも、本人には耐えがたいことである場合もある。子どもたちの気持ちに寄りそった、生命を大切に教育であつてほしいと願う。

生命の尊さ、相手を感じる心を育む心の教育、生徒指導の充実につとめている。

**編集委員は大忙し** 8月18日、岩手県矢巾町議会と宮城県丸森町議会が広報編集視察で来町されました。午前、午後と対応。お互いに意見交換をしながら、なごやかに研修をすすめました。今年度後半も視察希望の議会が待っています。10月は沖縄県、山形県、鹿児島県から。議会予算?あるんですね。

**アスパラクッキー誕生** 8月16日、農業まつり&米の日が中央生涯教育センター駐車場で、約3000人が来場し開かれました。メインイベントの全日本てんこ盛り大会には、町内外から20人が出場し、西根北後免の佐藤孝子さんが、15センチの大会新記録で優勝しました。町内産のアスパラガスを使ったアスパラクッキーが発売開始となり、多くの人達に買い求められていました。



# 農業用水路の整備が必要

## 町長 — 計画的に進める

※新マルキン事業(肉用牛肥育経営安定特別対策事業)粗収益が全国平均の生産費を下回った場合に差額の8割を補填する。

### 農業政策



ともえ まさいち 議員 正市

秋の農作業安全月間です。「無理するな 疲れたときには NO! 作業」です。

議員のつぶやき...

# 企業誘致こそ町づくりの基本

## 町長 — 第十次総合発展計画でも取り組む

**問** 企業誘致を推進することによって、雇用が生まれ、人口維持、人口増に繋がり、新たな税収効果も見込める。企業誘致こそ町づくりの基本とし、第十次総合発展計画に盛り込むべきではないか。

**町長** 雇用場の確保、税金の確保など、企業誘致は町づくりにおいて重要な要素である。第十次総合発展計画でも取り組んでいく。人口減少を緩やかにすることや女性の職場の確保が必要と考える。



企業誘致は町づくりの重要な要素(岩手中部工業団地)

**町長** 難しい農業問題の中で農業を守り、後継者対策も必要である。アスパラ

のか、皆、不安で恐々としている。難しい農業問題の中で農業を守り、後継者対策も必要である。アスパラ

### 町づくり



たかはし ふみお 議員 高橋文雄

今期議員の定例会も12月議会だけだよな~ 町民、住民の皆さん、12月議会には、ぜひ傍聴に来て頂ける~ 多くの皆さんが議会に感心を持つ事で金ヶ崎も、さらに大きく変わるんじゃないかな~

議員のつぶやき...

**問** 今年も田植以後、平年以上の高温及び極端な少雨が続き、この夏の猛暑で農産物にどのような影響があったか問う。  
**町長** 町の平均最高気温は5~7月で平年を3度ほど上回っており、8月中旬までは平年より高い日が続いた。雨量は8月16日までの総雨量が、380ミリで平年の510ミリと比較してかなり少なかった。水稲は、永沢・岩手中部両土地改良区では交代制通水を実施した。岩手県NO.1 SAIによると、御免、谷地上、和光などから25筆の干害被害申請が出されていること。

**問** 国が進める農業改革を実現させるためにも、農業水利施設を更新、整備することが不可欠である。基盤整備・パイプライン化事業を急ぐべきである。  
**農林課長** 基盤未整備地区を優先課し、財政状況を見ながら計画的に進めていく。

**問** 全国的な和牛子牛不足により子牛価格が高騰している。和牛肥育では今後、高値で導入した牛の出荷が始まる。枝肉相場が一段と上がらない限り収支の採算割れが長期化する恐れがあり、早急な対策が必要である。  
**町長** 町肉用牛貸付基金や国、県、農協の補助事業を有効に活用してもらう。関係機関とともに国、県に対し更なる支援を要請している。



日照りに不作業と言われるが……

**問** 新マルキン事業が有効と考えるが、実際はあまり機能していないと聞く。事業の改革と補填率の引き上げが必要と考える。  
**農林課長** 早急に関係機関へ要請している。

**問** 熊によるデントコーンの食害防止のため、現在18戸で延べ24km電気柵が設置されている。国の指示により7月、農協とともに一斉点検をした。その結果、すべて安全適正に設置されていた。今後安全対策として広報等を通じて注意を喚起していく。  
**問** 有害鳥獣の生息状況はどうなっているか。  
**農林課長** ハクビシンの捕獲が2課長年ほど前から増えている。鹿が牧草地ではつきり見られるようになり、今後注視していく。熊は生息数は変わらないと思うが、電気柵の影響があるのか目撃情報が少なくなっている。冬眠を控え、これから注意が必要である。

**戦後70年の祈り** 8月20日、金ヶ崎町戦没者追悼式が中央生涯教育センター大ホールで開催されました。戦後70年、戦争を体験した世代の皆さんからのお話は今でなければもう聞くことはできません。参加される遺族の方々が年々少なくなっています。一人一人の心に平和の灯を絶やすことのないよう願うものです。

**問** 9月定例会議での花憩庵内通路は、町として必要か、必要ではないのかの質問に対し、答弁もれではなかったか。  
**町長** 答弁もれではない。利用者の利便性を確保しているのが現状のまま良いと答弁した。

**問** 県道停車場線と合わせロータリーと考えた道路とすることで、利用価値が向上するのではないか。  
**町長** そのような発想は当然出てくると思うている。

**問** 世の中は一寸の土地でも争いが起る。境界に杭を打つべきである。  
**建設課長** 赤線、青線については、はっきりさせる。

### 花憩庵内通路は必要か

**問** この通路の中に町所有の土地が含まれていると、資料にあるがどうなのか。  
**建設課長** 東側入口部分の斜めに課長ある。面積等は記憶していない。

**問** 知事選挙の際、町長は平野氏支持と報道されたが、達増県政とどう対応、対処するのか。選挙のしりはないのか。  
**町長** 選挙は無投票となり、携を取りながら町政を推進している。

**問** 花憩庵の課税部分には赤線、青線が入っていない。通路部分が非課税であるか。  
**町長** 赤線、青線は入っていない。通路部分が非課税である。

**問** 知事選挙の際、町長は平野氏支持と報道されたが、達増県政とどう対応、対処するのか。選挙のしりはないのか。  
**町長** 選挙は無投票となり、携を取りながら町政を推進している。

**ああ霞ヶ関詣で** 一年を通して東京には陳情、要望の人々が絶えることはありません。8月19日、県町村議会議長会でも、震災の早期復興、ILCの東北誘致等で政権与党、復興担当政務官に要望(伊藤議長も議長会理事として出席)。超巨額の費用が伴うILC地方では盛り上がっているものの、国の対応はまだだの感。陳情や要望がなくなる世の中は、永遠にないのでしょうか。

次期総合計画

地区センターは交流と健康福祉の拠点に進化

町長 人が行為し、施設が役割を果たすのではない

問 次期総合計画の基となる将来の町の時勢をどう捉えているか。

町長 第一は人口減少問題だ。10年後には1万5153人という推計がある。生活圏ごとに変動に大きな幅がある。第二は住民の高齢化。南方や三ヶ尻地区を除けば他は高齢化が進む。このことから生活圏ごとの取り組みが必要と判断する。人口減少をいかに緩やかにするかが最も大きな課題である。

町長 すべての分野に影響する。例えば下水使用料の減少、医療介護などの社会保障費の増大圧力、経済活動の低下による所得減少など、人口減を基調とした政策転換が避けられない。

問 生活圏ごとに様相は異なり、地区にあった取り組みが大事。高齢化が進むところは健康寿命の延伸が課題だ。特に冬期間の運動機会の確保が問題。歩くだけでも高齢者には大切なこと。体育館併設の地区センターはその拠点になりうる。地区住民が自由に集まり、各々の目標に合わせた施設利用が可能であれば、地区センターに交流と健康福祉の機能が加わると予想



街地区も三ヶ尻地区センター(体育館併設)のように

する。楽しみながら運動する環境がほしい。街地区に

も併設の体育館が必要だ。町長 新たに体育館を建てることは、町全体の施設の在り方の中で検討しなければならず、いつでも自由に使えるという観点から、現在の街地区体育館の利便性は見直さなければならぬ。

特定空き家対策

問 町内を歩いていると人が住んでいない家が目につくようになってきた。その中には庭が荒れ放題になっていたり、傾き倒れそうになっている空き家もある。放置され毀損が激しく周囲の迷惑になっている空き家を「特定空き家」というが、この問題の解決のため国が法律を定めた。町が特定空き家対策計画を策定し、計画に基づき必要な措置を実施するものであるが、その中には固定資産税の減免解除も含まれている強力なものだ。現在の取り組み状況はどうか。

町長 今までは利用可能な空き家の有効活用を努めてきた。空き家バンクや利



ふえ続ける空き家 地方の大きな課題に



うめだとしお 梅田敏雄 議員

人口が減る。町が縮小する。でも変化を進化とする希望は、未来を形創る。

議員のつぶやき...

戦後70年の所感

町長 平和の鐘を鳴らし続ける

問 先の大戦で本町からも多くの犠牲者を出しているが、戦後70年にあたって町長の所感は。

町長 今日の平和と繁栄は戦争の犠牲者と遺族の不断のご苦労の賜物である。遺族の高齢化が進むが、悲かな戦争の過ちを繰り返さないよう国際協力を図り、「平和国際交流の町」宣言で平和の鐘を鳴らし続ける。そのため、町遺族連合会の協力を頂き、戦没者追悼式を継続開催すると共に、節目には記念講演会等で平和の尊さを伝える。また、戦争体験者が高齢となっているが、悲惨な体験を後世に伝えて頂くためにも元気で長生きできるように医療や介護、福祉を充実していく。

道路改修 整備について

問 国道4号拡幅要望については、今迄は北上市境から金ヶ崎高校までであったが、今年度になって、町全区間5kmに変更した理由は。

町長 今迄は交通混雑区間の改良を優先していたが、国の所官庁と相談し、高速道のインター間の物流交通アクセス化を考慮して全区間に変更した。

問 三ヶ尻交差点改良にもなう東側の町道新設予定地は沢形状であるが、道路構造等について問う。

町長 埋立を行い、幅7m、延長226・7m、最大埋立高6・0mである。必要土砂利は2万mを見込み、町道、国道の残土を活用する。進捗状況は今年度



工事が進む国道4号線三ヶ尻交差点付近

町長 新設東町・荒巻線は、現町道との交差点が多く、信号機等安全対策が必須であるが供用開始まで設

置可能か。(特に通学路に)

町長 信号機設置については水沢署を通して県警本部とも話しており、10月に

相談する予定である。努力はするが決めるのは、あくまでも公安委員会である。町長 町道改良事業休止8路線の早急な解除を望むが、第十次総合発展計画にどう反映されるか。

町長 8路線中、代替路線を含め2路線は年度内完工予定。残る6路線は交通量や重要度、緊急度を判断しながら優先順位を決めていきたい。その全体概算費用は7億円を見込む。

問 金小周辺の住居専用地域の生活道路改良について問う。

町長 行財政改革、機構改革等緊急案件以外はできない。宅地開発指導要綱による民間開発に期待したい。

戦後70年



ちだ つとむ 千田 力 議員

町長の所感には全く同感です。戦争体験世代の日々の平安を心から祈ります。

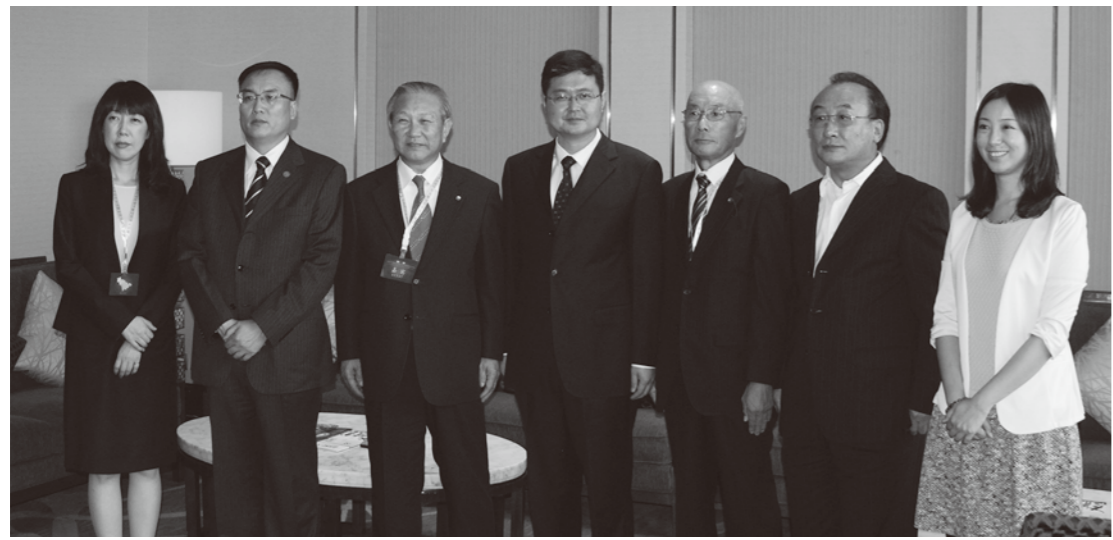
議員のつぶやき...

中日韓地方は地方で このほど第1回中日韓地方政府協力会議(中国長春市)に議長、町長が招かれ出席。(関連記事20ページ) 国レベルでは、ぎくしゃくした関係にはあるものの、地方は互いに協力し合い経済、文化の発展に努力し合うとのねらいで開かれました。長春市との交流はすでに四半世紀が経過、今後未来を担う子どもたちのさまざまな交流が進展することを期待します。

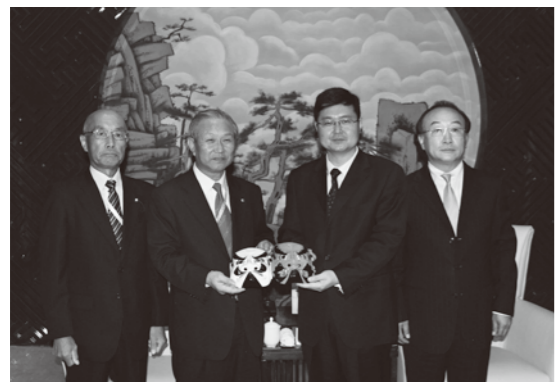
にぎわい創出 8月22日、ビール通待ちかねのペアレンビールフェスタが金ヶ崎駅前で開催され、多くの愛好家でにぎわいました。前売りのチケットが売り切れるほどの人気で、町内の出店業者さんもペアレンさまさま。マイジョッキ持参で飲むほどに酔うほどにぎやかな語らいの一日に。電車から降りてすぐの場所が受けてか、町外の人が半分以上?このにぎわい毎日だったらいいのになぁ。

金ケ崎町の友好都市である中国長春市を会場に、吉林省主催の中日韓地方政府協力会議が開催され、同市から招待を受けたことから議長、町長が8月末長春市を訪問しました。

併せて長春市長との間で平成28年度交流事業計画に調印を行ったほか、今後の両市町の絆をさらに強固なものにしていくことを確認しました。  
(関連記事 19ページ トピックス)



長春市王副市长(中央)をかこんで友好関係の継続発展を確認



金ケ崎町から鬼面をプレゼント



中日韓地方政府協力会議に出席



長春市内のデパート スケールの大きさにびっくり



すべてが美味、豊富な食文化

発展著しい吉林省長春市



吉林省と北朝鮮との国境にある「長白山」



めざすは天池(カルデラ湖) 中国全土から集まる登山客

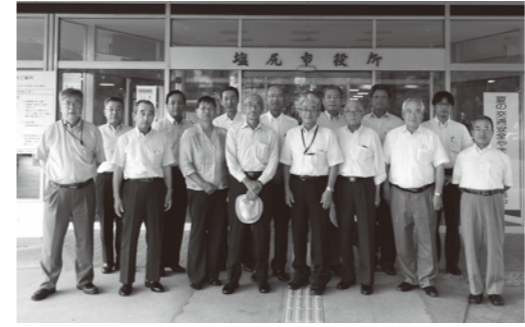
# さらなる友好交流を確認

— 議長 長春市公式訪問

議会の町政調査会(議員全員で構成)では、7月29日~31日の2泊3日の日程で長野県塩尻市、石川県津幡町を訪問し、地方創生総合戦略や通年議会の先進事例について研修しました。

塩尻市は長野県の中央部に位置し、人口約6万7千人の地方都市であり、全国に先駆けて地方創生総合戦略を策定しました。いち早く策定できた大きな理由は、今年度から始まる第5次総合発展計画の策定の下地があったことによるものです。

これまで慣例では5年間の計画期間であったが、第5次は予算を伴った3年間を実施計画期間とし、それを3回繰り返す9年間の長期総合計画としました。



研修を終え 塩尻市役所の前で

策定の過程では、人口の現状と将来展望を綿密に分析し、地域の活力を維持するためにどう施策展開すれば効果的かを判断し計画したものです。このことが結果的に地方創生の考え方に符号しました。地域の生き残りをかけてあらゆる局面で知恵を絞る現場の研修でした。

津幡町は金沢市に隣接し、人口約3万7千人の町です。議員定数は16人で当町と同数で平成24年2月から「通年議会」を試行し、翌年1月から本格実施したとのこと。

通年議会は毎年1月15日に開会し、翌年1月14日に閉会する1年間を会期としています。会議の開会は議長が必要に応じて開くために、議会が主導的・機動的に活動できます。チェック機能の更なる充実・強化が図られ、いつでも委員会ごとの活動が可能となり、災害時の緊急対応や突発的な行政課題に対し、速やかに対応できることなどメリットが多いと話されました。

問題点としては、年末年始に会議を開くことは考えにくいことから、請願審査は12月議会で結論を出さないと審議未了となるおそれがあるとのこと。



通年議会について説明を受ける

また、首長の予定が過密であった場合、会議に首長の出席を求めるかどうかも課題となっているとの説明でした。

このような先進事例を参考に、当議会もさらに議論を深めなければならないと感じた視察でした。

長野県塩尻市

## 塩尻市における地方創生総合戦略

石川県津幡町

## 津幡町の通年議会



高橋 藤宗 議員

### 学びを活かす

議会改革先進地で訪れた石川県津幡町議会は、通年議会を開催していました。会期は通年なので、町長は専決処分をすることができません。さらに、毎月決まった日に議員全員協議会を開催するなど、行政と議会がよい意味で連動していると感じました。我々も金ケ崎の築いてきた文化を理解しつつ、良き物は取り入れ、議員間討議を繰り返しながら、金ケ崎町議会の改革に取り組んでいかなければならないと強く感じました。



千葉正男 議員

地方総合戦略 一期生の塩尻市 戦略の目玉は、①子育て世代に選ばれる地域となるために、②シニアが生き生きと活躍できる地域となるために。 当町でも大いに参考となる総合戦略でした。 人口減少社会を迎えつつある中、地域間競争に負けない金ケ崎町を造っていかねば……と、決意を新たに塩尻市視察でした。

総務 常任委員会

要望は道路として恒久利用

①観光振興に関する状況調査

○観光振興を図るため、パンフレットの作成等、各種取り組みをしているが、観光客人込数は伸びていない。○観光土産のPR活動をするも、販売業者及び土産数が少なく、認知度は低いままである。○観光イベントは一過性で終わることなく発展させることが課題である。○関係団体等との連携、支援強化のもと、町の観光認知度向上に努めること。

②土地開発公社解散に伴い代物弁済のあった土地に関する状況調査

○住宅団地の残区画数は34区画ある。需要を考慮のうえ、再区画化や道路設備を検討するなど販売促進に努めること。○北部地区流通業務団地は、隣接する寄附採納物件を併せて分譲するなどを検討し、販売促進に努めること。

③花憩庵構内通路に関する状況調査

○花憩庵構内通路は、近隣住民や金ヶ崎駅利用者から通行の要望が高く、土地所有者と町で協議の結果、通路として利用開放された。この通路は、今後利用形態を変更する可能性があるため町道認定は行わないでほしい旨、所有者から申し入れがなされている。○住民や金ヶ崎駅利用者の要望が多いことから、道路として恒久的に利用できるよう、両者の協議を進められたい。



道路として恒久的に利用できるように(花憩庵構内道路)

産業建設 常任委員会

町民の要望を 早期実現

①請願・陳情採択事項追跡調査

一、桑島重三郎に関する建造物・遺跡・記念館等の保存・充実・活用についての請願 ○文書については地域や様々な機関から情報を集めている。解説については、金ヶ崎町の歴史文化団体の協力を得て作業を進めている。記念館は今後の検討課題としている。 ○軍馬補充部官舎、県が1棟の保存整備方針を示し、今年度内の完成を予定している。完成後は記念館とすることを計画している。



補修工事が進められている軍馬補充部官舎(六原)

二、町道「大平・前野線」の早期整備についての請願 ○予防医学協会西側から谷地地区を通り森山総合公園入口までの路線の早期整備の要望である。町では予防医学協会西側から県道胆沢金ヶ崎線交差点までの区間を先行して整備する方針であり、妥当と認められる。

三、「みどりの郷」付近町道歩道の樹木伐採に関する陳情 ○街路側の樹木は全て伐採され、畑等への日照は十分確保された。切り株に動物等のチェーンソーアクトが施され、景観に彩りを与えていることや、伐採木を売却して収益を得たことは評価する。

四、町道一の台10号線幅員整備に関する請願 ○町の財政事情を考慮すれば、当路線幅員工事の今年度中の実施は困難と認められるが、雨水対策は、早い時期に実施するよう望む。

五、町道「蟹子沢〜高谷野原線」一部早期舗装整備についての請願 ○路盤の損傷が大きい箇所について補修が行われたが、全面舗装は未実施であった。早期全面舗装の施工完了を望む。

②地域おこし協力隊活動状況調査

○地域おこし協力隊は、都市部から金ヶ崎町に住民票を移した2名が隊員として、金ヶ崎町の歴史・自然遺産の調査、地域資料の情報発信などの様々な活動をしている。○隊員の活動と住民の意識の融合を通して、金ヶ崎の地域づくりが大きく伸展することを期待する。

教育民生 常任委員会

国体の準備を万全に

①学校給食センターの調理状況調査

○安全安心な給食提供のために衛生面の管理は適切であり、調理状況は良好である。○業務委託を行う際は、町民によく説明し、理解を得ること。

②金ヶ崎中学校の空気調節状況調査

○教室の窓が広く開けられず、風通しが悪く、教室は非常に暑く、学習に支障をきたしている。環境改善に努めること。○教室に扇風機の増設をするなど、暑さ対策を施すこと。

③国民体育大会の準備に係る状況調査

○森山総合公園野球場及び金ヶ崎中学校ソフトボール場は整備されており状況は良好である。○練習場である荒巻公園ソフトボール場に、用具保管施設を設置すること。

④ふるさと伝承館の管理状況調査

○厩及び厠は土壁が剥がれ落ちており、管理は良好とはいえない。住民に危険がないよう、適切な管理をするよう努めること。



国体リハーサル大会が行われた森山球場

汚染対策 町民の安全安心のため、町の努力を確認

放射能汚染対策 調査特別委員会

○町内放射線量の測定は定期的に行われており、町民に安心感を与えている。○すべての作業が屋内で行われており、順調で予定通り進むものと思われる。○他市町では仮置場も決まらない中、ペレット化や保管の処理作業まで速やかに進めた農林課の取り組みを評価する。○除染土類仮置場は現状で維持管理してほしい。



再包装された牧草ロール やがて焼却へ

9月29日、第6回放射能汚染対策調査特別委員会を開催しました。福島第一原発の事故から4年半が過ぎ、町の放射能汚染牧草の処理状況や汚染土類仮置場の現状等を確認しました。 一、町内の放射線量の推移 ○全体的に線量値が減少している。今後も緩やかに減る傾向にある。 二、利用自粛牧草の保管・処理状況 ○牧草の焼却処理は、長期化が見込まれ、県が創設したペレット化事業を活用し、ペレット化処理を行った。事業終了により約1300tもの牧草が残った。 ○新たに県事業を活用し、保管している牧草を短く断裁し再度ロールを形成、ラッピングフィルムで再包装する。 ○再包装したロールは、焼却するまで保管・管理を行う。焼却完了は、平成29年3月を予定している。 三、除染土類仮置場保管状況 ○除染土、薪ストーブ焼却灰は分類保管されており、施設内の放射線量の測定も行われている。

意見

○町内放射線量の測定は定期的に行われており、町民に安心感を与えている。

○すべての作業が屋内で行われており、順調で予定通り進むものと思われる。

○他市町では仮置場も決まらない中、ペレット化や保管の処理作業まで速やかに進めた農林課の取り組みを評価する。

○除染土類仮置場は現状で維持管理してほしい。

地域医療の前進めざして

9月25日、「金ヶ崎診療所医師との交流会」が中央生涯教育センターで開催され、診療所長と歯科長による訪問診療の歴史・現状・課題に関する講演、保健福祉センター事務長より診療所新築に関する経過及び今後の予定等の報告がありました。「新診療所にリハビリ施設とその専門職員配置」という所長の要望に町長からの前向きな発言がありました。

議会トピックス④

ビビッた？始球式

このほど希望郷いわて国体リハーサル大会・第67回全日本総合女子ソフトボール選手権大会が金ヶ崎町・花巻市を会場に熱戦がくりひろげられました。初日、森山球場では町長が、金中球場では議長がそれぞれ始球式。ひと昔前金ヶ崎議会チームで鳴らした？議長は、ユニフォーム姿で登場。投げたボールは超スローワンバウンドながら東北福祉大の一番バッターを空振り仕留めました。これも福祉のこころ？

議会トピックス③

けん ばい  
剣舞で鍛えた足腰は  
今も健在



たか はし  
高橋 フジさん  
(細野)



庭にも畦にも芝桜 Oh! Beautiful!! 元気な花咲か婆さん  
(美しい)

細野島の海に住む高橋フジさんは、昭和6年2月生まれの満84歳。自他ともに認める元気印のスーパーばあちゃんです。

42歳から細野おなご剣舞の舞い手をつとめ75歳まで現役として活躍しました。戦地に赴いた男衆に代って受け継がれたおなご剣舞。今も脈々と踊り継がれています。農業ひとすじ、自慢は庭の芝桜。40年前から栽培管理に余念がありません。

一方、おなご剣舞で鍛えた足腰は今も健在。毎年、地元の秋祭り(敬老会)では道化踊りを披露。「いつも明るく楽しく元気よく」みんなに笑いをふりまいています。

息子さんが言うには「うちのフジさん(富士山)は、日本一」どうぞ、いつまでもお達者で。

カムバック双子ちゃん 表紙の写真によせて

やさしい双子姉妹  
5人も仲よしです



仲よし姉妹 みさきさん みさとさん

議会だより84号(表紙写真)では幼かった子どもたちも大きく成長しました。直感でだいたいの事はできてしまう、みさき。でも、気の乗らない事は後回しにしがちですが、やることなったらあつという間に終わらせてしまう頑張りやさんです。みさととは、何事にもこつこつと取り組む努力家です。家の手伝いをよくやってくれ我が家の小さいお母さん。二人とも、私達には無い良いものを持っている、ふらやまっごです。いつでも「ありがとう」「ごめんねさー」「だいじょうぶ。」「を素直に言えるやさしい子になってほしいです。」  
北方 及川 仁一 祐子

編集日記

編集作業に取りかかった頃は、一面黄金色の稲穂が波打っていた田んぼも刈り取られ、秋の気配が一段と深まってきました。春から全国各地で異常気象に見舞われた今年、このへんで少し落ちついてほしいものです。

議会だよりの視察申し込みが鹿児島県、沖縄県から入っており、ありがたくも驚いています。次号は今期最後の編集となります。気合を入れてがんばります。(及川みどり)

議案審議と補正予算、そして補正予算に対する討論コーナーを担当しました。毎回のことですが、議場での質疑、答弁の内容をいかに与えられたスペースにまとめるか、提出された原稿の内容や字句のチェックなどに腐心しました。

さて、議員任期も残すところ数カ月となりました。編集委員全員、議員活動や地区行事、町行事等への出席など、多忙ではありますが、残された議会だよりの編集作業を精一杯努めあげたいと思っています。(山路正悟)

議会広報編集特別委員会  
私たちが編集しました

- 議長 伊藤 雅章(発行責任者)
- 委員長 及川みどり
- 副委員長 山路 正悟
- 委員 千葉 和美
- 委員 阿部 隆一
- 委員 巴 正市
- 委員 佐藤 千幸

次号のお知らせ

次号(第117号)は平成28年1月発行予定です。12月議会定例会の内容を中心にお伝えいたします。

